Change for Growth

統合報告書 2023

JVCKENWOOD

変革と成長
Change for Growth

株式会社 JVCケンウッド

Contents

「統合報告書 2023」編集方針

当社は、新中期経営計画「VISION2025」の策定に合わせ、企業理念「感動と安心を世界の人々へ」を定款に記載しました。これを機に、当社が「持続的な企業価値向上」を目指す姿をできるだけ多くの情報とともに充実させる事に取り組みました。

本報告書において、特に2つの点にこだわって編集しました。1つ目は「価値創造ストーリー」です。今回、「統合思考」を強く意識することで、長期的視点で地球を取り巻く社会課題に対して、当社がどのような価値を提供できるのか「ありたい姿」を描き、そこからバックキャストして自社の経営資本や事業活動のあり方を見つめ直し、マテリアリティを再設定しました。

2つ目は、「中長期 KPI と具体的な取り組み」の充実です。マテリアリティに具体的にいつまでにどう取り組むのか、マテリアリティ解決に向けた取り組みがいかに当社の企業価値向上に繋がっていくかを表現すべく、2023年から設置した CEO 直轄の「サステナビリティ委員会」で経営戦略と連動させた活発な議論を通じ、マテリアリティを軸に章立てを構成し、KPI と具体的な取り組みを紐づけて記載しています。

この統合報告書をツールとした皆様との対話を通じて、当社はさらなる企業価値向上を図ってまいります。皆様の忌憚のないご意見を賜れれば幸いに存じます。

統合報告書2023　編集部

INTRODUCTION

企業理念 1
At a Glance 2

CEO メッセージ 6

価値創造ストーリー

中長期ビジョン 10
価値創造プロセス 12

価値創造戦略 1 新中期経営計画「VISION2025」

新中期経営計画「VISION2025」 14
CFO メッセージ／財務戦略 18

価値創造戦略 2 事業戦略

モビリティ＆テレマティクスサービス分野 20
セーフティ＆セキュリティ分野 24
エンタテインメント ソリューションズ分野 28

価値創造戦略 3 サステナビリティ戦略

サステナビリティ戦略全体像 30
マテリアリティ①「安心・安全への取り組み」 32
マテリアリティ②「環境への対応」 34
マテリアリティ③「持続可能なものづくり」 38

価値創造を支える基盤

従業員の活躍促進とダイバーシティ＆インクルージョン 44
リスクマネジメント 48
コンプライアンス 50
ステークホルダーエンゲージメント 51
社外取締役座談会 52
監査役メッセージ、投資家コメント 55
コーポレート・ガバナンス 56
取締役・監査役および執行役員 60
社外からの評価 61

データセクション

財務ハイライト、非財務ハイライト 62
沿革 64
国内・海外ネットワーク 66
財務(IFRS)・非財務情報 68
会社情報／株式関連情報 69

見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本報告書発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

企業理念

感動と安心を世界の人々へ

Creating excitement and peace of mind for the people of the world

私たちは「感動と安心を世界の人々へ」提供するという企業理念を
JVC ケンウッドグループの行動の原点として共有いたします。
この理念にもとづき、私たち一人ひとりは感動と安心につながる多様な豊かさと価値観を、
あらゆるステークホルダーの皆様と分かち合っていきたいと思います。

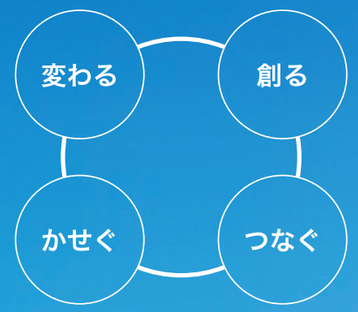
経営方針

ものづくりを通じた
新たな価値の創造

変化ある未来に立ち向かう
企業風土の構築

イノベーションを実現する
人材の育成と組織能力の強化

4つの行動指針



At a Glance

私たちは、音楽や映像、無線を通じて
「感動と安心を世界の人々へ」お届けし、
さまざまな社会課題解決への貢献を目指します。

「安心・安全なまちの実現へ」

業務用無線システムは、多くの警察・消防・救急などで採用され、さまざまな場面で円滑なコミュニケーションを促進し、「防災・減災」に貢献しています。また、セキュリティカメラシステムはあらゆる場面で人やまちを見守り、犯罪の抑止や安全な居住環境の構築に貢献しています。当社は「音」と「映像」、「通信」技術を軸に、「安心・安全」なまちづくりの実現を目指します。

「人々の暮らしに感動を」

当社グループは、多くのアーティストとともに、良質な音楽／映像コンテンツや、それらをダイレクトに体感できるライブイベントなど「感動」の場を創造しています。また、原音を探求する高音質なオーディオ機器や、究極の映像美を体験できる映像機器を提供することで、人々の暮らしに音楽、映像の力によって生み出される「感動」をお届けします。

「モビリティライフに感動と安心を」

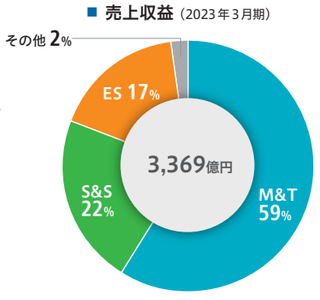
EV化や自動運転化が進むモビリティ社会においては、車室空間がさらに多様なシーンに生まれ変わります。人々のモビリティライフにおいて、当社は「音」と「映像」のソリューションを通じて、車室空間をもっと「ワクワクする」、「感動する」エンタテインメント空間にし、また、ナビゲーションやドライブレコーダーで「安心・安全」なドライブに貢献していきます。

At a Glance

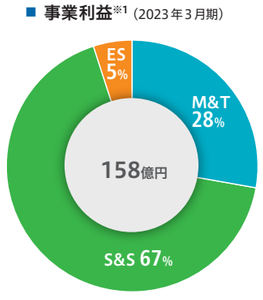
3つの事業分野で企業理念「感動と安心を世界の人々へ」を実現する製品、サービス、ソリューションを提供します。

■ モビリティ＆テレマティクスサービス分野（M&T）
■ セーフティ＆セキュリティ分野（S&S）
■ エンタテインメント ソリューションズ分野（ES）
■ その他

■ 売上収益（2023年3月期）



■ 事業利益※1（2023年3月期）



個性あふれる3つのブランド

KENWOOD
高品質、先進性、鋭さの想いをブランドロゴの赤トライアングルに込め、音と通信の技術を軸とした製品を展開。無線システムや車載用製品・サービスの展開を拡大中です。

JVC
音響／映像製品や車載用製品などを主に海外市場において展開。常に人々の生活に寄り添った製品やサービスを提案します。

Victor
“His Master’s Voice”で知られる犬の「ニッパー」と共に親しまれています。既成概念にとらわれず、時代にふさわしい技術や製品を追求します。（日本国内のみ）

モビリティ＆テレマティクスサービス分野

3つの事業（OEM、アフターマーケット、テレマティクスサービス）で、快適かつ安心・安全な車室空間に寄与する製品やサービス、およびソリューションを展開しています。

■ **OEM事業**
カーディーラーや自動車メーカー、部品メーカー向け

■ **アフターマーケット事業**
カー量販店や小売店向け

■ **テレマティクスサービス事業**
損害保険会社、ライドシェアサービス会社、タクシー会社、運送会社向け

主要製品・サービス

■ OEM事業、アフターマーケット事業

カーナビゲーション

ディスプレイオーディオ

ドライブレコーダー

アルコール検知器

電気自動車の再生バッテリーを利用したポータブル電源

■ OEM事業

車載用アンプ／アンテナ／スピーカー

■ テレマティクスサービス事業

通信型ドライブレコーダー

防塵・防水仕様の通信型ドライブレコーダー

セーフティ＆セキュリティ分野

2つの事業（無線システム、業務用システム）で、人々の命と暮らしを守り、安心・安全なまちづくりに寄与する製品やソリューションを展開しています。

■ **無線システム事業**
警察・消防・救急などの「公共安全市場」、および「民間市場」向けに信頼性の高い業務用デジタル無線システムを提供。アマチュア無線機や特定小電力トランシーバーなど個人向け製品も展開。

■ **業務用システム事業**
国内市場向けセキュリティシステムや業務用放送システム、音響ソリューションと、ヘルスケア事業における病院／診療所向けの高精度な医用画像表示モニターを展開。

主要製品・サービス

■ 無線システム事業

業務用無線システム

小電力トランシーバー

アマチュア無線機

■ 業務用システム事業

業務用放送システム

セキュリティシステム

医用画像表示モニター

エンタテインメント ソリューションズ分野

2つの事業（メディア、エンタテインメント）で、音楽や映像を通じて人々の心や生活を豊かにする製品やソリューション、およびコンテンツを展開しています。

■ **メディア事業**
ヘッドホン、イヤホン、業務用カメラ、プロジェクターなどの音響・映像機器と、それらを核としたソリューションビジネスを展開。非常時やアウトドアで役立つポータブル電源も提供。

■ **エンタテインメント事業**
主に国内向けに、数多くの人気アーティストの楽曲や映像コンテンツの配信ビジネス、CD/DVD/Blu-rayパッケージ販売、ライブ開催、およびグッズ販売といった非音源ビジネスを展開。

主要製品・サービス

■ メディア事業

ヘッドホン／イヤホン

ポータブル電源

プロジェクター

オーディオシステム

PTZ※2リモートカメラ

■ エンタテインメント事業

音楽・映像コンテンツ

※1：売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなる、その他の収益、その他の費用、為替差損益などを含みません。

※2：パン（P）・チルト（T）・ズーム（Z）操作の略称。